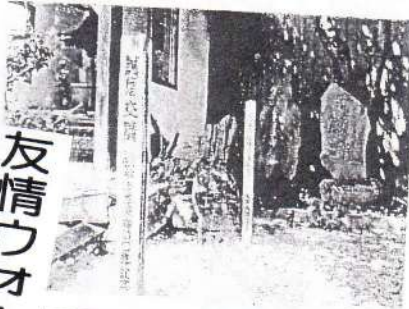


* 今月の花
ボケの花

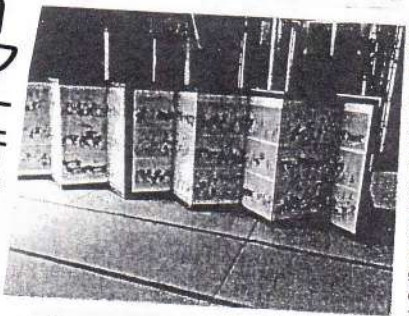
第9次 21世紀の朝鮮通信使 ソウル～東京 友情ウォーク



第1日	4月1日(土)	ソウル	城南市月川堤(ウォルチヨニョン)				
第36日	5月6日(土)	垂井	JR垂井駅北口	8:30	尾張一宮	JR尾張一宮	18:30
第37日	5月7日(日)	尾張一宮	JR尾張一宮駅西口	8:00	名古屋本笠寺	笠寺観音	17:30
第38日	5月8日(月)				名古屋・交流日		
第39日	5月9日(火)	名古屋本笠寺	笠寺観音 名鉄本笠寺駅5分	8:30	岡崎	名鉄東岡崎駅北口	18:00
第40日	5月10日(水)	岡崎	名鉄東岡崎駅北口	8:00	豊橋	JR豊橋駅	17:30
第41日	5月11日(木)	豊橋	JR豊橋駅東口デッキ	8:00	井天島	JR井天島駅	17:00
第53日	5月23日(火)	川崎	JR川崎駅東口	8:00	東京	皇居	15:00



関連標柱のある妙善寺



通信使行列屏風のある崇覚寺



使節が認めた掛軸のある東別院

友情ウォークの、
かいわいの、朝鮮通信使に由緒ある、寺
院・屏風・遺品

五月八日、名古屋で交流会

四月一日、韓国ソウルを出発した「第9次二十一世紀の朝鮮通信使 友情ウォーク」一行が、五月七日から十一日まで愛知県下を行進する。

名古屋では「現代の通信使・あいち」が出迎え、五月八日には、名古屋市内・東別院駅近くの、料理店『かもめ』で交流会をもつ。

※ 行程は諸事情により、一部変更・変動する可能性がありますので、ご了承ください。

歴史の心

第3講 隋・唐と高句麗の東アジア割拠

金 宗 鎰

（社協東海支部会長）

高句麗は中国と数多の戦争を行っていた。

『朝鮮通史』（ピョンヤン・一九九二年）は、「漢が高句麗侵略を企てたとき、漢の玄菟郡を追いやった」、高句麗は前漢（前二〇六〜八）新（八〜二二）後漢（二五〜二二六）魏（二二〇〜二六五）などの侵入を撃退する苦しい戦いを展開した」、

「二一三年には楽浪郡を、三十四年には帯方郡を遼東から駆逐して、古朝鮮の故地をほとんど奪回した」と記述する。

『三国史記』を読むと、高句麗は建国以来、戦争をしていない国王がいなと感じる。

司馬遼太郎によると、戦争をしなかった王はわずか二代であったという。しかしながら氏は高句麗の勇戦は語らない。氏の『韓ゆき紀行』のふくやかな筆致のような高句麗の雄姿をみたかったと思う。

氏は司馬遼太郎にあやかって、遼かに及ばないとの、謙遜か遼太郎としたが、両者の相違

は、歴史の「史実」を語る者と歴史の「好み」を語るほどの相違があると感じる。

『漢書』（平凡社版 中国シリーズ3）にある司馬遷伝を読むにつれ、心からの史家への畏敬の念を自ずと感じる。

高句麗の隆盛を記した朝鮮史料に広開土王碑が残されている。広開土王碑は高句麗勢力圏と古代東アジア世界の史実を記録した巨大な石碑である。高さ六・三メートル、幅一・五メートル、碑文の刻字は一千八百余字。

筆者はそのレプリカを中国へ旅行した友人からプレゼントされたが、ずっしりしたつくりで歴史講演にはよく持参したものだ。

広開土王碑は語る。①広開土王は三十九年高句麗王となる。時に十八歳。②即位にあわせて、年号を「永楽」と定めた。永楽とは高句麗独自の年号である。よって、生前「永楽太王」と称された。③広開土王は北の中国東北地方東部から、南は朝鮮半島南部の新羅までを政治的・軍事的影響

下におさめた。よって、「岡上広開土境平安好太王」と諡（おくりな）された。④碑は高句麗の始祖であるチュモンを「天帝の子」とし、その歴代の高句麗王を、天帝の末裔としている。

そして、「天帝」の権威にもとづく、独自の君主号・年号を創出し、中国王朝とは異なる独立の世界の君主として高句麗勢力圏に君臨したのである。

一言で言うならば、中国王朝世界とは異なる独自の「朝鮮史」の世界が記述されている。この「朝鮮史」の雄叫びに、高校「日本史」は百濟七支刀と同様に、碑の新解説と共に、唯一の高句麗王の名の記述を消去した。碑文にある『百濟と倭を打ち破った』を『日本史』は受けとめられず、教科書から消し去られた。

「天帝の末」の高句麗と「天帝の信を得た」漢族の王たちとの戦いは、いよいよ本格化した。隋との三度の戦い、唐との三度の戦い、約七〇年間の死闘が展開された。

戦争の核心は遼東の固守と

奪取である。かつての「漢の領土」とする中国と「かつての古朝鮮」の領域とする高句麗の、戦争である。

隋の大侵略から見ても。隋の文帝は五九〇年に高句麗に使者を派遣し、高句麗を脅した。

・歴代の流賊たる陳を一朝にして平らげた。しかるに王(高句麗)は陳の滅亡を嘆き恨み、ひとり悲しみ傷んでいるという。王は遼河の広さが長江に及ぶとでもいうのだろうか。あるいは高句麗の人口が陳国に並ぶとでもいうのであろうか。朕が一将軍に命じれば事足り、大軍を派遣する必要もない。『隋書』東夷伝)

五九八年、文帝は大軍三十万を高句麗に向かわせた。遼江での戦闘は両軍の弓矢の飛び交い、空をも暗くしたという。戦闘は隋軍の惨めな敗北に終わった。隋の兵十人に九人が命を落とした。東アジア史はこれの特筆する。

文帝の子、煬帝は六一二年、一一三万の大軍を二四個の軍団に編成した。(別に食糧部

隊約二百万) 世界史上最大の軍勢は北京を四十日ばかりで出発した。海路からは四十万の水軍を發した。

高句麗の嬰陽(ヨンヤン)王は御前會議にて、乙支文徳に指揮をゆだねた。

煬帝は遼東城を百余日攻めたが、城は落ちなかった。煬帝は別働隊に命じ、高句麗王の前進基地、鳳凰城を攻略するが、これまた失敗する。煬帝は兵の疲れにやむなく撤退を始めるが、追尾する乙支文徳將軍、これをサル水江にて痛打する。

サル水の戦いに、三五万五千の隋軍大敗、わずかに二千七百人の生き残ったと隋書は記す。

煬帝は大敗に懲りず、三次の高句麗侵攻を繰り返すが、失敗する。ついには国内の反乱を招き、隋は亡ぶ。

煬帝の成功は、ベトナム南部(林邑)を占領し、流求国(台湾が沖繩)に朝貢をうながし、チベットの吐谷渾を平定した戦果は高句麗によって無に帰した。

※ ※ ※

以上、東アジアの環境の中に推古朝が始まっている。

五九五年、高句麗の慧慈(ヘジャ)法師が聖徳太子の師となり、「三法の棟梁」となる。倭の遣隋使が派遣されたのも六〇〇年である。

まさに高句麗と隋の戦争の時代である。

日出ずる処の天子、日没する処の天子に致す。つつが無きや。と煬帝を不快にさせた国書の發する背景を、吟味すべきであろう。倭国には、高句麗によって、隋の武器や捕虜が送られている。要するに、倭の遣隋使は、高句麗の対隋戦の勝利の外交の内にあつた。

高校「日本史」の「遣隋使」の記述を見る。

『五八九年、隋が、長い間、南北に分裂していた中国を統一すると、朝鮮半島では百濟・新羅がこれに朝貢した。しかし高句麗が従わなかったため、隋は高句麗に遠征した。しかし失敗した。朝廷はこのような情勢をみて、六〇七年、小野妹子を隋につかわし、翌年、隋が裴世清を来日させる

と、その帰国に際し、再び小野妹子を送ると共に、高向玄理、僧旻、南淵請安ら多くの留学生をつかわした。隋との外交目的は、百濟を経ないで中国の制度文物を直接輸入することにあつたが、ここで注目されるのは、日本が中国との対等の外交形式をとったことである。そのねらいは、日本の朝鮮三国、ことに五六二年に加羅を滅ぼした新羅に対し優位な立場に立つたことであつたらしい。』

「日本史」は東アジアの大変動、高句麗の戦勝と隋の滅亡の史実の構造を記述すること無く、日本の対等外交を大書特筆する。

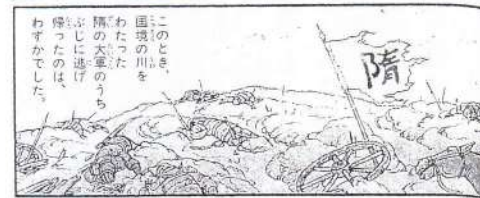
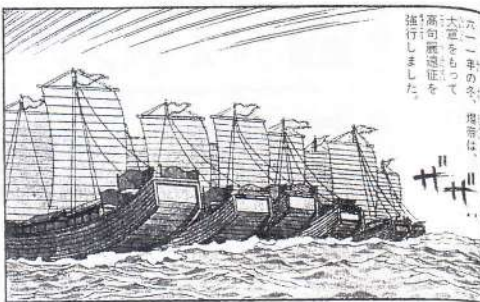
史学とはかけはなれた「好み」は、東アジアの歴史を伝ええない。乙支文徳を知らないままの歴史を続ける。

厩戸王子の国書の指南役であつた慧慈の「史実」の地位と役割は「日本史」は語らない。「対等外交」の立役者であつたであろうに。

※ ※ ※
隋を受け継いだ唐は、東



廣開土王陵碑 乙支文德將軍



集英社文庫『世界の歴史』② から

突厥を六三〇年に滅ぼし、チベット地方もくだした。
 高昌国等を滅ぼし、西北への進出をはたした唐の太宗は、つぎに高句麗に目をむけた。太宗は六四五年に遼東城を包囲した。ついで安市城の攻防戦では八八日間、これを落せず軍を引いた。
 六四七年、六四八年、六五〇年、六六一年の侵略も、高句麗のイリカスミの前に敗退した。イリカスミ（伊梨柯須弥）とはヨンゲソムン（淵蓋蘇文）の『日本書紀』での記名である。
 「かれのひげづらははなは

な立派であり、身体つきはたくましく優れている。身につけた衣服や冠、くつはみな黄と絹で飾り立て、五本の刀を脇にさし、常にひじをはって闊歩する」（旧唐書高句麗伝）。唐太宗の百万の大軍を撃退したヨンゲソムン評である。
 高校日本史「遣隋使」を筆者ならば下記のように記述する。
 『中国を統一した隋は、高句麗・百済・新羅・倭に朝貢を促した。
 かねてより、師の慧慈（高句麗僧）からの情報で知る状況に、聖徳太子は六〇七年小

野妹子の遣隋使を派遣した。高句麗の隋撃退の知らせと戦利品を見てのことだ。
 「日出する処の天子、日没する処の天子に致す。つつがなきや（王、多利思比孤）」に對し、「蛮夷の書、無礼なるあらば、復た以て聞するなかれ」と不快感を示した。遣隋使はこのように大陸外交への一歩となる。
 隋と高句麗の戦争の最中、六〇三年、冠位十二階の制が高句麗の制度にならい制定された。」

高句麗あり
 栄えたり 広開土王
 光れる 乙支文德
 力みなぎる
 我れ高句麗なり
 煬帝のあなどり
 隋の亡びたり
 太宗のおごり
 唐の敗れたり
 高句麗の歴史なり
 東アジアの大戦なり
 世界の歴史なり

鑑賞のおすすめ



【その 84】

韓国映画

『ユゴ 大統領有故』

(2005年)

監督：イム・サンス

伊藤 一郎

koreamovieculture@yahoo.co.jp)

朝鮮文化を知る会



権力グループの力関係、絶妙に描く
依然強い元大統領への関心

本作品は、朴正熙元大統領が殺害された10・26事件を描いた多くの韓国映画の一つである。

映画の公開以前より朴元大統領の家族が、故人の名誉を傷つけることを理由に上映禁止仮処分申請を裁判所に出すなどの経緯により、韓国社会で話題になった(注1)。

媒体によって映画の題名が『その時、その人々』とも表記されている。韓国中央情報部(KCIA)の課長を演じたハン・ソッキュ(注2)は、今回は主役ではなく、準主役のキャラクターを演じている。映画のあらすじは以下のとおり。

当時の韓国は十八年間もの長期にわたる軍事独裁政権の下にあった。一九七九年十月二六日、KCIAのキム部長(ペク・ユンシク)の右腕として働くチュ課長(ハン・ソッキュ)は、大統領(ソン・ジェホ)の女性関係の対応に追われていた。

大統領にハラスメントをされたと主張する本人と母親

を、KCIAの権限で威圧し、

その親子を見知らぬ場所で開催して一息ついたのも束の間、今度はその夜に大統領の宴会に参加する二名の女性を呼ぶ指令が下る。ほぼ日課となった宴会に際して、チュ課長は、歌手のシム(キム・ユナ)と女子大生のチョ(チョ・ウンジ)を手配し、宴会が開かれる宮井洞の宴会場に届ける。宴会では二人の女性が多はるみの「北の宿から」などの日本の演歌を歌い、参加者らは日本語の会話を楽しむ。そんな状況のなか、突如事件が発生する。

韓国映画『KCIA 南山の部長たち』(二〇二〇年)と本作品を比較すると、本作品では大統領暗殺後の軍とKCIAの攻防が細かく描かれている。大統領暗殺事件については今日も謎が多くすべてが真実とは言えないながら、二つの権力グループの力関係が絶妙に描かれている(注3)。

大統領暗殺後にKCIA部長を乗せた車がなぜ南山に直

行せず軍に行つたのか、なぜ「クーデター」が失敗したかについて描かれている。またK C I A部長を信じて(あるいは信じざるを得ない状況において)暗殺を実行した四人の部下たちの悲惨な最後、宴会での事件にたまたま居合わせた人々についても描かれている。

大統領暗殺をすぐ近くで目撃することとなった二人の女性、生涯その衝撃的な場面を忘れることはなかったであろう。またK C I A部長が大統領を殺害する状況が大きく異なる。本作品では大統領に執拗にトドメを刺すK C I A部長の鬼気迫る状況が描かれている。銃声の後に血飛沫が飛び散り、あちこちに転がっている血まみれの死体に対してさらにトドメがさされていく。

そんな生々しい場面が映画の随所に見られる。K C I A部長の描き方も二つの映画で異なる(K C I A部長対立する警護室長の描写は、二つの映画ではほぼ同じである。警護室長によるK C I A部長本人

に対する侮辱、またその部下に対するパワハラが復讐心さらなる火をつけた状況となっている。) 本作品は十八年前に韓国で公開されたが、朴正熙元大統領に対する韓国国民の関心は依然として高い。現在ソウルではミュージカル「朴正熙」が上演されているという(注4)。

(注1) 裁判の途中で開かれた上映会では、数分間真っ黒な画面に音声だけが上演されることもあったという。裁判が終わりに近づくころの日本上演においては、韓国で公開されなかった映像がノーカットで上演された。

(注2) 映画『八月のクリスマス』(一九九八年)、『シユリ』(一九九九年)、『二重スパイ』(二〇〇二年)などで主役を演じた。映画だけでなくパイロット(一九九三年、M B C)など多くのドラマにも出演。一九八四年にM B C江辺歌謡祭奨励賞を受賞した。『八月のクリスマス』のエンディングでは、ハン・ソ

ッキユみずからテーマソングを歌っている。

(注3) 本作品は今日も謎が多い事件の動機や真相の究明は行っておらず、あくまでも基本的な通説をもとにしている。

(注4) 過去には二〇〇二年にソウルのオペラ劇場でオペラ『人間朴正熙』が上演されている。また慶尚北道龜尾市で二〇一六年、朴正熙一〇〇年事業の一環として市が朴正熙元大統領を題材としたミュージカルの製作を推進した。それに対して市民団体が、ミ

ュージカル製作の反対運動を行った。長年にわたる朴正熙独裁に対する批判の一方で、依然として五・一六軍事クーデターと維新体制を美化する一定数の韓国国民が存在している状況は今日も変わらなない。朴正熙元大統領に対する評価、見解の対立も生じている。二〇二一年には、「朴正熙ミュージカル」を製作した人々の対立から、二派に分裂し、それぞれが同じ題名の別のミュージカルを上演する事態が起こった。

★いあんない★

藤村記一郎作品コンサート70

おおとり

はなづる

オラトリオ

鳳の花蔓

時: 2023年 5月5日(祝・金) 15:30開場 16:00開演

場: 東海市芸術劇場 大ホール 名鉄「大田川」駅下車すぐ

席指定: S席:2500円 A席:2000円 (障がい者・高校生以下はそれぞれ1500円引)

名古屋青年合唱団 問い合わせ: TEL:052-361-8645 □ meisei@wine.ocn.ne.jp

★ごあんない★

講座「朝鮮半島と日本との交流史」

【会場】

名古屋国際センター大ホール

■名古屋駅から東へ徒歩7分

■地下鉄桜通線「国際センター」駅下車すぐ



【講師】

西谷 正 (九州大学名誉教授)

【講師プロフィール】

1938年、大阪府生まれ。元日本考古学協会会長、海の道むなかた館長、九州歴史資料館名誉館長。朝鮮半島を中心に東アジアの古代史を比較考古学的に研究。「古代日本と朝鮮半島の交流史」については、最高の語り手といわれる。

【参加費】1回 1000円

(学生無料)

定員120名

第1回シリーズ

①5月3日 ● 14:00～

高句麗からの渡来文化

～強天国の誇り高く～

②6月11日 ● 14:00～

百濟からの渡来文化

～文化大国の栄光映えて

③7月9日 ● 14:00～

新羅・加耶からの渡来文化

～巨大古墳と技術革新～

④8月6日 ● 14:00～

倭人も、また海を越えた!

～半島南部に見る倭人の足跡～

【お申し込み】

WEBでのお申し込み

右記のQRコードからお申込みください



FAXでのお申し込み

請求のフォームにて下入の上、0568-84-8674までお願いします。

こうして人々は波濤を越えた!!

～渡来人と渡往人～



【お問合せ】 邑翠文化フォーラム事務局 Park 080-8250-2452

★ごあんない★

邑翠文化フォーラムの
願い

邑翠は、緑に包まれた爽やかな空間の意

朝鮮半島と日本との間には古代から交流が脈々と続いてきたことは明治らしいの考古学、歴史の研究によって明らかになって来ています。日本人のDNAに半島から渡来した人々の影響があることも否定できません。

2002年のワールドカップの日韓共催を前に当時の天皇、現在の上皇様が「わが天皇家も古代においては、天皇の夫人に百済王族系の女性が迎えられているなどで、韓国には強いゆかりを感じています。」と述べられた事も記憶に残っています。

21世紀の今、東海地方には多彩な人々が住んでいます。日本人は、もちろん、二つの祖国に別れている在日の人々に日本籍にかえた元在日の人々、そして、増え続けるニューカマーが混在していますが、相互の交流がほとんど無いまま時には反発しあう人たちもいます。

邑翠フォーラムは、こうした現状に一石を投じようと考えています。継続的な講座の開催で古代らしいの半島と日本との文化的交流の歴史を確認してもらい、受講した人々が夫々の立場を超えて互いを認め合い対話を始めるよう努力するつもりです。

こうした考え方に共感しているのが、すでに 25年間、日韓の民間交流の実績を積んできた日韓市民ネットワーク・などやなので、この団体と協力しながら、講座を継続し、多文化共生に、わずかでも尽力したいと考えています。

講座「朝鮮半島と日本との交流史」

第1回シリーズ

こうして人々は波濤を越えた!!

～渡来人と渡往人～

【講師】西谷 正 (九州大学名誉教授)

【会場】名古屋国際センター大ホール

■名古屋駅から東へ徒歩7分
■地下鉄桜通線「国際センター」駅下車すぐ



【参加費】1回 1000円 (定員120名) 学生無料

- ① 5月3日(祝) 14:00 ~
高句麗からの渡来文化～強大国の誇り高く～
- ② 6月11日(日) 14:00 ~
百済からの渡来文化～文化大国の栄光映えて～
- ③ 7月9日(日) 14:00 ~
新羅・加耶からの渡来文化～巨大古墳と技術革新～
- ④ 8月6日(日) 14:00 ~
倭人も、また海を越えた! ～半島南部に見る倭人の足跡～

お申し込み

WEBでのお申し込み

右記のQRコードからお申込みください⇒



FAXでのお申し込み

下記のフォームにご記入の上、0568-84-8674 までお願いします。

【お問合せ】邑翠文化フォーラム事務局 Park 080-8250-2452

講座「朝鮮半島と日本との交流史」
第1回シリーズ

FAX 0568-84-8674

名前	(フリガナ)	職業	参加回
連絡先			①・②・③・④ ※参加回に○をつけてください。

※電話番号またはメールアドレスをご記入ください。

論評

徴用工裁判から見えるもの

学校法人愛知朝鮮学園
理事長 文光喜

今年三月、一一年ぶりの韓国大統領の訪日で「合意」された解決案は韓国で実行されつつある。四月二三日、元徴用工の訴訟をめくり、韓国の財団が被告の日本企業に代わって賠償金相当額の支払いを原告二名に支給したという。反面、四月三日韓国の大田地裁は元徴用工と遺族の請求を認め、三菱重工が韓国で保有する特許四件の差し押さえを認めた。この決定は資産の範囲が商標権二件と特許権一件に広がり、最高裁の命令があれば日本が心配する「レッドライン」(資産の現金化に向けた手続きが可能となる)を超えることになる。三菱重工訴訟の原告梁錦徳さんは「明日死ぬとしても韓国が払う汚い金は

受け取らない。日本が跪(ひざまつ)いて謝罪するまでは、どんな金も受け取らない」として、謝罪が必要だとして徹底して戦う姿勢を崩していない。なぜ解決が難しいのか歴史認識と訴訟の角度から見てみたいと思

歴史認識の見直しはいつから?

日本の歴史認識見直しは「歴史・検討会」が一九九三年に発足(初当選した安倍晋三が委員に抜擢)し、藤岡信勝(東京大教授)らが九六年に「新しい歴史教科書をつくる会」で、当時の教科書を「旧敵国のプロパガンダ」と非難し、フジサンケイグループの扶桑社が発行元となり始まった。

九七年に安倍晋三をはじめとする日本会議は「新しい教育基本法を定める会」を設立し、朝日新聞の「吉田清治加害証言偽証」以降、読売新聞などの「捏造報道」とバックラッシュ(反動)と共に加速化したのである。二〇〇〇年二月の「女性国際戦犯法廷」では、旧日本軍慰安婦と海外の政治家が昭和天皇や戦時中の政治家、軍幹部への「判決」を言い渡す民間法廷のNHK番組を安倍首相は内容を改編させた。自民党内では自主憲法制定を主張するタカ派が強くなる反面、護憲勢力である社会党や社民党の分裂・衰退によって二〇〇六年には教育基本法や学校教育法を改定された。それは教育において新自由主

義と国家主義の強化を進め、朝鮮高校生の無償化の除外や中学校の教科書から「慰安婦」「徴用工」の記述がなくなつたのである。このように見直しが始まつた日本の一九九七年と韓国の二〇〇五年は類似している。韓国では九〇年代の民主化以降、二〇〇四年には盧武鉉政権時に親日派を清算する動きと共に、「日帝強占下強制動員被害真相究明委員会」が発足した。それに対抗して、「自虐史観」を見直す歴史学会が二ユーライトの「教科書フォーラム」を二〇〇五年に誕生させた。朴槿恵政権(二〇一三年)時に現代史学会が「高等学校韓国史教科書」を編纂して、一五年に「慰安婦」問題に関わる日韓合意において抑圧して否定した。さらに二〇一九年、李栄勲は「反日種族主義」に繋ぎ、歴史学会は「嘘文化」の元祖として、「女子勤労挺身隊」との混同を激しく批判して、元慰安婦を侮辱したのである。それに李宇衍は「強制連行説」の朴慶植を全面的に否定し、それは誇張・捏造であり、民族

差別は全く根拠のない歪曲だとして、大法院の判決を「歴史歪曲に基づくでたらめ」だとする、韓国での見直しがある。

ドイツの経験から学ぶこと

二〇一九年九月一日、第二次世界大戦開戦八〇周年記念行事で、ドイツのシュタインマイヤー大統領は、「私たちは決して忘れません。私は犠牲者たちの苦痛の前で哀しみのうちに頭を垂れます。私はドイツの歴史的な罪について赦しを乞います。私は私たち(ドイツ人)の責任に終わりがなく、認めます。和解とは一つの恩恵であり、私たちドイツ人の側から要求できるものではありません。」と述べた。加害国は、和解の前提となる、歴史問題を解決すること、ヨーロッパ諸国との和解を可能とし、「隣国すべてが友人」となったのである。賠償の面でも、二〇〇一年、ドイツは国家が五〇億マルク、強制労働させたベンツ、フォルクスワーゲン

ンなどの企業数十社が五〇億マルク(当時の日本円で約五二〇〇億円)を拠出し、「記憶・責任・未来」基金」を設立し、ナチス時代に強制連行・強制労働させられた一五〇万人の人々に対する補償を行い、〇七年にその任を終えたという。しかし、加害者である日本は未だに、不当な植民地支配及び侵略戦争の遂行と直結した日本企業の反人道的な不法行為である強制動員を認めず、「最終的に解決している」として拒否した。それに対して、一八年の韓国大法院の判決は「元徴用工の損害賠償請求権は、反人道的な不法行為を前提とする。日本企業に対する慰謝料請求権」であつて日韓請求権協定には含まれないと結論付け、外交保護権と元徴用工個人の損害賠償請求権のいずれも消滅していないと判示した。それに対して、日本側は「国際法上あり得ない判断」として、韓国を非難した。本来、日韓請求権協定の締結以来、「個人の請求権は消滅しない」と力説してきたのは日本側であつた。それが、

シベリア抑留被害者問題等の戦後補償裁判以降、突然変更し解決済みと主張し、権利は消滅していないが、「行使することが出来ない」としたのである。すでに、中国人強制連行事件の花岡事件、西松事件、三菱マテリアル事件などの元徴用工問題は訴訟を契機に、日本企業が事実と責任を認めて謝罪し、その証として基金を設立し、被害者全体の救済と慰霊碑を建立し、毎年慰霊祭を催すことで問題を解決した。韓国では請求権協定を実行するために一九六六年に「請求権資金法」、七一年に「請求権申告法」、七四年に「請求権補償法を制定し、対象者に支給した。なお追加措置のために八七年の民主化以降、二〇〇四年には真相究明特別法が制定され、「韓日会談文書公開の善後策に関する民間共同委員会」が公式見解を公表した。さらに二〇〇七年には「支援法」を制定し一〇年には範囲をサハリンまで広げた。

韓国の徴用工たちは日本政府が「法律上の義務は消滅」しても法的な保護は与えられないので、大阪地方裁判所に一九九七年に未払い賃金の支払いと強制労働等一五件の損害賠償請求を訴えた。裁判所は強制労働については認めたが、請求そのものについては認めず、二〇〇二年一月大阪高等裁判所で控訴が棄却され、三年一〇月に敗訴が確定した。それに応じて、ソウル中央地方法院でも有効であると認め、原告らの訴えを棄却した。原告らはそれにひるまず控訴して、控訴審であるソウル高等法院は原審判決を支持したので、さらに上告し大法院で、原審判決の破棄、差し戻し判決を二〇一二年五月二四日に獲得し、一八年に勝ち取ったのである。崔鳳泰弁護士(三菱重工業徴用工裁判の弁護、日帝強占下強制動員被害真相究明委員会「事務局長」)は「日本の市民運動と弁護士が蒔いた種が韓国の法廷で咲いた、両国の市民と法律家の勝利」とした。それに反して勝訴債権を消滅させることは、韓国の主権・大法院の判決の無力化につながる外

交的敗北であり、一大惨事である。

植民地は合法か、不法か？

このように判決が分かれる原因の一つは国際法の解釈である。日本政府の合法的な立場は、韓国併合は合法であり、韓国側の立場は不法であるとの正反対の立場だ。一九九五年八月十五日の村山富市首相は植民地支配と侵略を認め、歴史認識を改め旧条約は不当だが、法的には「有効」だとした。菅直人元首相も二〇一〇年八月一〇日閣議決定を踏まえた談話で歴史認識を示した。遡ると、植民地支配を始めた「韓国保護条約」に対して、国連国際法委員会(ILC)は一九六三年総会宛報告書に「絶対的無効」だと示した。一九〇五年「韓国保護条約」は形の上では締結されたように見えても、日本軍と伊藤博文が大韓帝国の政府代表個人を脅迫して締結の形を作った未完成の「捏造」された「偽造文書」である。国際慣習法(国家代表個人の強制に

よる条約は絶対的無効とする)の「不合法論」では一九三六年、外務省の批准文書(「天皇ノ裁可ヲ以テ締結スル国際約束ト、御裁可ヲ仰グコトナク政府又ハ閣係官庁限ニテ締結スル国際約束」として「批准不要説」がある。しかし、国際法の権威者、ウイリアム・ホール氏は「明示ノ批准」が必要だとし、韓国側の未完成文書には大韓帝国外務大臣の署名捺印の外形はあるが、主権者の高宗皇帝の批准がないことから明らかに効力を発生していないとした。これは武力による強制的な占領により、諸外国からの批判を避けるため、高宗皇帝が保護国化を希望して「合法的」な条約の締結をしたとする捏造文書を作成したことは大法院判決が言う通り、植民地支配は国際法上からも不法なのである。

日本は一八七六年「雲洋号」の軍事力圧迫で「日朝修好条約」を結ばせ、八二年の壬午事変、八四年の庚申政変の失敗、東学党の乱(甲午農民戦争)の弾圧を口実に清国と戦争の要因を作

り、宗属関係を断ち切った。高宗皇帝は一八九六年ロシア公使館の庇護の下で皇帝即位し、大韓帝国を樹立して「光武改革」を実施する一方、鉱山と鉄道利権を譲渡しないと宣言したが後の祭りである。日本は「韓国の保全」がロシアによって脅かされたとして、親露派の王妃閔妃を殺害し、日露戦争後は軍事的に占領・保護国化して、内政、外交権を奪い、伊藤博文(初代総督)が統監統治を行った。国王高宗はオランダのハーグで開かれた第二回万国平和会議(ロシア皇帝の主権による)に三名の密使を送ったが、無視され退位させられた。一九〇七年、第三次日韓協約が結ばれ、韓国軍が解散されたことに怒り反旗を翻した軍隊が農民や宗教家を巻き込み繰り広げた義兵闘争は日本軍によって一万八千人の犠牲者を出し無残にも鎮圧された。その抵抗運動として、一九〇九年一月二六日中国の哈爾(ハルビン) 駅で安重根義士は伊藤博文を射殺して、独立を叫んだが、一九一〇年には日韓併合がなされた。併合条約は、二代目統監寺内正毅と李完用首相との

間で締結されたが皇帝純宗は詔書に署名しておらず、条約は成立していないのである。

ゆえに、一八年の大法院判決は「植民地支配違法論」の立場から、朝鮮人労働者の戦時動員を違法行為と断定し、元労働者たちを動員した日本企業に対する原告の慰謝料請求権を認定したことは国際法にも即していることなのである。

個人の被害賠償請求権はあるのか、ないのか？

この朝鮮人労働動員問題は、日本の統治下にあった朝鮮人が日本企業の募集や朝鮮総督府の官斡旋、「徴用令状」により集められた元労働者やその遺族による訴訟問題である。二〇二二年六月現在、韓国では一〇〇〇人を超し、被告企業は一五社に上り、現在も三〇社が係争中である。今回、日本製鉄と三菱重工業に対する原告の認定だが、他にも軍人・軍属として強制動員された被害者の権利救済の問題も含まれる。この本質は、被害者個人の人權問題であり、いかなる国家間

旨意も、被害者が受け入れられるものでなければならぬ。国際社会の人権保障水準に即したものでなければ、真の解決にはならないと思われ。それは、加害者が事実を認めて謝罪する事、謝罪の証しとして賠償する事、事実と教訓が次世代に継承されるといふことが充たされて真の解決である。

司法当局の判断が異なる日韓両国政府は、外交や軍事を巡る係争にまで飛び火したが、所詮人権侵害事実の認定である。日本裁判所も事実問題としては原告の被害が強制連行や強制労働に該当し、違法であると認められている以上、日本の加害企業が決断し、日本政府がそれを妨害しなければ解決できるであろう。

外村大(東京大教授)はこの問題が意外に現代社会の直面する問題、具体的に外国人労働者の導入・活用、処遇という問題とも類似性を持つものだと指摘している。現代の外国人労働者も、戦時下の朝鮮人労働者も、労働力不足を背景にホスト社会のマジョリテイ

が忌避する職場で就労させるために動員させるために導入された点では同じである。現在は少子化、戦時下は軍事動員という事情の違いはある、共通していると思われるのである。

カギワード

二〇〇二年平壤宣言では「過去の植民地支配による痛と損害を与えたという歴史の事実を謙虚に受け止め、痛切な反省と心からのお詫びの気持ちを表示した」とした。朝鮮とはすべたが未解決であり、植民地支配の清算の問題は残され、「解決済」論は通用しない。それは植民地支配の三六年間も含まれるが、戦後七八年の責任も問われる。いくら拉致問題を前面に出して済んでも、日本人妻の問題も含め、日韓基本条約・協定の修正・補完は不可避である。六五年に韓国を「唯一の合法的な政府」とした、日韓条約第三条も、一九九一年南北国連同時加盟によつて「失効」している。九八年の日中共同宣言や村山首相談話は今や国際

条約となり、否定することには条約違反になる。日本は中国、韓国、朝鮮と共に東北アジア非核平和共同体の形成のために、真摯に自国の近・現代史に向き合う必要があると思われ

朝鮮人強制連行の歴史は、戦争被害者の人権を救済することに繋がる歴史である。被害者の人権を守ることは平和を維持する力にもなり、日本が持つマジョリテイの弱さがマイノリティに対する加害の歴史をもたらしたことを自覚する里程標にもなるものである。

(二〇二三年四月二日)

FAR 例会のご案内

皆さんご無沙汰しております。コロナのため3年余休みでしたが、5月の朝鮮通信使ゆかりのまち金山大会へ千田理事長が参加。その報告と故星原副理事長の偲ぶ会を開催。ご出席よろしく願います。

記

- ・2023年6月6日(火)午後3時~5時
- ・名古屋国際センター第1研修室
- ・会費 千円

- 1部 千田理事長の報告
- 2部 星原さんを偲ぶ会

呼びかけ人石井孝和、千田龍彦、貫井正之の3氏

・恐縮ですが準備の都合のためご出席の方は早めに下記にご連絡下されば幸いです。

☎090-9921-5500 又は短縮メールで。

*星原さんの思い出等の寄稿の方は下記アドレスに送信か、事務局田中まで送付ください。

〒464-0014 名古屋市千種区御影町 1-11-1-513

事務局 田中 統

【参考文献】

- 外村大『朝鮮人強制連行』岩波新書2012
- 吉澤文寿『歴史認識からみた戦後日韓関係』社会評論社2019
- 木村幹『歴史認識はどうか』千倉書房2020
- 内田雅敏『元徴用工和解への道』戦時被害と個人請求権『ちくま新書2020』波多野澄雄『徴用工』問題とは何か『朝鮮人労働員の実態と日韓対立』中公新書2020
- 戸塚悦朗『徴用工問題』とは何か?『韓国大法院判決が問うもの』明石書店2019



【編集者まえがき】本欄は、我が国とは未国交状態にある朝鮮民主主義人民共和国の立場や日朝関係を含む諸見解を理解できるように、同国の対外文化連絡協会（ピョンヤン）を通じて日朝協会愛知県連（名古屋）に直接送られる情報・資料をそのまま紹介する欄です。

独島（竹島）

前世紀の教訓忘れた 無分別な行為

朝鮮対外文化連絡協会

【 朝鮮民主主義人民共和国
ピョンヤン 2023年3月21日発 】
原文／日本語

新しい世代に対する歪曲された歴史教育、例年のように独島関連の主張を公然と盛り込んだ外交青書、防衛白書の発刊、領土主権展示館を利用した国民感情の刺激など独島を巡る日本の動きが騒々しくなってきました。

年明けから日本の外交関係者が公開席上で独島は歴史的にも国際法的にも「日本固有の領土」であると強弁しました。

当局の主導の下で行われた

世論調査ではほとんどの応答者が独島の領有権に対する「正当性」と「歴史的経緯」に関心を表したそうです。

独島が歴史的にも地理的にも国際的にも朝鮮民族の固有の領土であるというのは論じる余地ありません。それでは明白な事実をかたくなに否定しながら強盗さながらの論理を提唱する日本当局の本心は何であるかということですね。

日本当局が執拗に独島の

「領有権」を主張し続ける理由はほかでもありません。独島が「日本の固有の領土」、他国に「不法占拠された領土」としてこく主張して国民に間違った認識を植え付け積極的に軍国主義意識を鼓吹する一方、防衛政策の転換と軍備増強、海外侵略野望の実現を合理化するためであります。

近年、日本の軍事大国化動きは益々本格的になっていきます。近い内に軍事費をGDPの2%水準にまで引き上げようとしており、「専守防衛」

のペールを脱ぎ捨てて防衛政策を先制攻撃的に変えました。

自衛隊はHPに独島を「紛争地域」に表記した動画を載せており、離島防衛訓練というのをひんばんに行っています。

日本の市民団体が当局の軍事費増額に反対し、生活と平和を守ることを呼びかける声明などを発表しているのはけっして杞憂ではありません。

謀略事件をでっちあげて戦争挑発の責任を相手側に擦りつけ、先制攻撃を仕掛けるのは日本が二十世紀の前半期、アジアの国々を侵略しながら使った手口であります。今日に至って日本がそのような手口を二度と使わないという保証はどこにもありません。

しかし、日本は無分別な野望が苦々しい敗戦で終わった前世紀の教訓を忘れてはいけません。

いま面白い市民運動の情報誌

地元

グループ紙誌
拝見

●名古屋三菱・朝鮮女子勤労挺身隊訴訟を支援する会 News (第八四号 二〇二三・四 発行) 同会

○「講演」平野伸人『いま、この時、朝鮮人中国人の強制連行の真実に迫る』

○加害企業・日韓両政府に要請・抗議が続く！

○『ほうせん花 Ⅲ』/三月九日、三団体(光州文化財団・(社) 日帝強制動員市民の会・名古屋三菱朝鮮女子勤労挺身隊訴訟を支援する会)で「文化芸術交流協約書」を締結

●平和新聞・愛知版 (二〇二三・四・一五 編集) 愛知県平和委員会/名古屋市東区

○愛知県高校生オキナワツア―/現地見て、自分事として考える旅に

○戦争と憲法・『安保3文書』にどうたち向かうのか/沖縄大学小林武教授 憲法講演会

○被爆者聞き撮りプロジェクト/3月にお二人の被爆者から体験聞く

●ハウネットニュース (二〇二三・四・七 発行) 弁護士法人・名古屋北法律事務所/名古屋市中区

○大軍拡・大増税は、亡国の道を進むもの/長谷川一裕

○ペットをめぐる(人間の)法的トラブル/中島万里

○日本の婚外子事情について/山内益恵

●なごや市職 (第三七七八号) 二〇二三年四月一日 発行) 名古屋市中区三の丸 労働組合/名古屋市中区三の丸

○労働組合が人生を豊かにしてくれます!/坂本将取さん

○知る、つながる、動かす。

労働組合の価値ってすごい/岩菅有里子さん

○まずは入って体験してみよう/武田一孝さん

●草の根 (二〇二三・四・六 発行) 原水爆禁止愛知県協議会/名古屋市中区

○被災六九年/二〇二三年3・1ピキニデー集会

○日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名/県内83612筆/三月十日現在

○続けることが大きな意義/被爆者行脚まとめ報告会

●NIC NEWS (第四一五号) 二〇二三・四/五 発行) 名古屋国際センター/名古屋市中村区

○国籍、言語、文化的背景が異なる人たちが共に暮らすために

○外国人の生活をサポート/人として享受されるべき人権

の確立

○地域の国際化/バックナンバ―から

●愛労連 (第三五六号) 二〇二三・四 発行) 愛知県労働組合総連合/名古屋市中熱田区

○二〇二三春闘 大幅賃上げめざし回答引き出しに全力/7組合16職場で110人がストライキ突入

○物価高騰で愛知の最低生計費も上がる/今すぐ、全国一律最賃一五〇〇円以上に

○原発事故なかったことにはさせない/岡本早苗さん

●日中友好新聞・愛知県連版 (二〇二三年四月一日 発行) 日中友好協会愛知県連/名古屋市中千種区

○中国の教育制度(改革)を通して中国を知る

○【ものしりコーナー】中国世界遺産は現在五六か所

○【お知らせ】中国百科検定

／第十三回 七月十五日

●窓の会

(第八五号 二〇二三・四・十) 発行 二これから出版 / 豊橋市

○おむつパンパンく古池もも
○莊子、賢治、ジル・ドゥルーズ四次元への階梯く大伊和雄

○崑山没後の田原藩と崑山の学芸の歴史的意義く別所興一

●結(ゆい)

(第三〇号 二〇二三・四・十) 発行 二ユニオンと連帯する市民の会

○「フリーランス」に希望はあるか③く後藤洋司

○いま愛知で起きていることを通して、戦時体制を支える「治安維持法体制」について考えるく小野政美

○ユニオンへの期待く猿田正機

○ユニオンへの期待く猿田正機

●ポラム

(第一三七号 二〇二三・四

ほか

ほか

ほか



・二二 発行 二岐阜朝鮮初級学校の子どもたちを支援するポラムの会 / 岐阜市長良

○「教室から」三年ぶりに中級部ができましたく朴九令

○「ごあんない」高賛・侑監督ドキュメンタリー『ワタシタチハニンゲンダ』(五月十四日

岐阜県図書館多目的ホール) ○ウクライナ戦争 今こそ停戦を / G7 広島サミットに向け

専門家や市民が声明

●愛知宗教者平和の会会報

(第二五号 二〇二三・四・一) 発行 二同会 / 愛知県愛西市

○真宗大谷派名古屋別院 離脱問題を考える②く河合利政

○私にとつての安保法制違憲訴訟判決く石川勇吉

ほか

ほか

日朝協会

【福岡版】二〇二三・四・一

○靖国神社に合祀されている朝鮮・台湾人

○「韓国のマスコミ」 「政治業績」に没頭、苦言を拒んだ尹大統領、「降伏外交」暴走(三月八日 ハンギョレ新聞社説)

○「韓国の伝承」王様の旅(上)

ほか

【東京版】二〇二三・四・一

○都議会定例議会 / とや議員の小池都知事への質問より / 関東大震災朝鮮人虐殺を認めるのか?

○すべてのこどもを取り残さない / やめさせましょう「官製ヘイト・民族差別」く島岡まり

○「歴史の窓」対馬藩の国書改ざん事件

○「歴史の窓」対馬藩の国書改ざん事件

ほか

【大阪版】二〇二三・四・一

○被害者不在では解決にならない / 徴用工問題

○「フイールドワーク」神戸のコリアン多住地・長田と非核神戸方式、南京町を訪ねる

○「かゑこさんの映画案内」『不思議の国の数学者』

ほか

【群馬版】二〇二三・四・一

○岸田首相「おわび」言及せず、「シャトル外交」再開へ / 徴用工問題・日韓首脳会談について

○原発は文明のお化け / 福島を忘れない / トルコの地震と原発く新井忠夫

○九月九日、朝鮮人虐殺・藤岡事件一〇〇周年特別行事 / 中川五郎ライブ開催!

ほか

【埼玉版】二〇二三・四・一

○3・1朝鮮独立運動記念学習会 / 関東大震災から100年、朝鮮人虐殺事件の歴史的背景 / ①日本人民衆の差別意識 / ②戒厳令・「不逞鮮人暴動」通牒発出の背景く関原正裕

ほか